

評価No. 1

担当課名	商工観光課	事業名	「おやべ繊維」のブランド化による地域活性化事業				
H30当初 予算額(千円)	59,000	H30最終 予算額(千円)	59,000	H30決算額 (千円)	50,927		
事業概要	【地方創生推進交付金事業（H29～H31：H29年6月補正）】 市内企業の繊維関連企業により設立された「おやべ繊維ブランド化推進協議会」により、加盟企業が持つそれぞれの優れた経編技術や染色・プリント加工技術、そして縫製加工技術などを活かしながら、「made in Oyabe」の商品開発に取組み、「おやべ繊維」のブランド化を目指す。（平成29年度からの3か年計画）						
H30事業実績 (詳細、具体的な 取組など)	大学との共同研究により、ハトムギの有効成分調査を実施するなど、新たな商品開発に向けた試作品の製作を行った。また、需要に応じた製品開発を行うため、市場の需要に関する調査を行った。						
K P I	指標名	単位	現状値 (H28)	目標値 (H31)	H30 実績値	H30 達成度	
	①	(RESAS) 製造品出荷額等 (実数) 製造業>繊維工業	百万円	13,082	13,212	13,178	99.7%
	②	おやべ繊維ブランドの商品開発数 (累計)	件	0	15	49	326.7%
	③	国内外の展示会への出店数 (累計)	件	0	4	2	50.0%
担当課評価		外部評価 【市民会議評価】			今後の方針 【推進本部評価】		
H30事業効果	地方創生に効果があった	事業の評価	総合戦略のK P I 達成に有効であった			事業の継続 (令和元年度終了)	
今後の方針①	事業の継続	意見	全KPIにおいて当初値よりも上回っていること、特に商品開発数が評価できる。				

評価No. 2

担当課名	農林課	事業名	小矢部型稼げる農業創造事業（地域特産品の開発・生産拡大事業等）				
H30当初 予算額(千円)	40,000	H30最終 予算額(千円)	40,000	H30決算額 (千円)	30,817		
事業概要	【地方創生推進交付金事業（H28～H30）】 小矢部市農業特産物推進協議会に委託し、生産者のシーズと消費者のニーズを調査し、消費者ニーズに対応した小矢部らしい地域特産品の開発と、生産や販売促進活動を展開し、新商品開発を行う。 「小矢部ブランド」の確立・浸透とブランド力の強化を図ることで、農業収入の増大と収益性の向上による、「小矢部型稼げる農業」をめざし事業を展開する。						
H30事業実績 (詳細、具体的 な取組など)	30年度は最終年度として、各種施策を行った。特産物の開発（新商品14商品）・強化、出向販売を行った。また、農業者の農薬散布用ドローンへの資格取得補助を行った。小矢部ブランドとして3品目（稲葉メルヘン牛、ヤーコン、ハトムギ）を認定した。						
K P I	指標名	単位	現状値 (H27)	目標値 (H30)	H30 実績値	H30 達成度	
	①	新商品開発数 (累計)	件	—	8	19	237.0%
	②	米の販売額 (農協)	百万円	2,113	2,150	2,125	99.8%
	③	小矢部ブランド認定件数	件	12	20	17	85.0%
	③	おやべの米たまご生産高	千円	18,082	30,082	18,528	61.6%
担当課評価		外部評価 【市民会議評価】			今後の方針 【推進本部評価】		
H30事業効果	地方創生に非常に効果的であった	事業の評価	総合戦略のK P I 達成に有効であった			事業の終了	
今後の方針①	事業の終了	意見	概ね目標値を達成していると考えられる。				

地方創生関連交付金事業 点検・評価一覧表

評価No. 3

担当課名	商工観光課	事業名	メルヘン等を活かした観光推進事業（見て来て体験！メルヘンおやべまるごとブラッシュアップ事業）				
H30当初 予算額(千円)	40,500	H30最終 予算額(千円)	40,869	H30決算額 (千円)	39,012		
事業概要	【地方創生推進交付金事業（H28～H30）】 「35のメルヘン建築群」と「歴史的観光資源」を、一体的にブラッシュアップし、「メルヘン」と「歴史」をキーワードとした体験メニュー付きの観光ルートを確立し、首都圏からの集客誘致を図る。同時に関連する商品の開発等により、本市の新たな魅力を創出する。シンボルキャラクター「メルギューくん」とメルモモちゃん」を活用したイベントを開催し、本市の魅力の情報発信と誘客に努める。						
H30事業実績 (詳細、具体的な 取組など)	「子どもから大人までが喜ぶような、わくわくするような明るく、かわいい街」という「新メルヘン」の定義（コンセプト）にもとづき、新たな観光旅行商品の開発を行った。また、「新メルヘン」の定義にちなんだイベントを開催した。						
K P I		指標名	単位	現状値 (H27)	目標値 (H30)	H30 実績値	H30 達成度
	①	観光客入込数	千人	1,121	1,800	1,174	65.2%
	②	グッズ等観光商品の販売売上額	千円	2,400	5,000	3,198	64.0%
	③	中心市街地通行者数	人/日	265	350	—	—
担当課評価		外部評価 【市民会議評価】				今後の方針 【推進本部評価】	
H30事業効果	地方創生に効果があった	事業の評価	総合戦略のK P I 達成に有効であった			事業の終了	
今後の方針①	事業の終了	意見	目標値の設定に問題があったと考えられるが、事業実施によって実績が上がったことは評価できる。				

評価No. 4

担当課名	商工観光課	事業名	日本版DMO活動事業				
H30当初 予算額(千円)	1,857	H30最終 予算額(千円)	1,857	H30決算額 (千円)	1,857		
事業概要	【地方創生加速化交付金事業（H27繰越）】 【地方創生推進交付金事業（H29～R2:広域事業）】 広域的に「選ばれ続ける観光地」をめざし、マーケティングや観光戦略を実践していくための事業費の一部を負担する。						
H30事業実績 (詳細、具体的 な取組など)	富山県が主導し、県内15市町村で連携して統一パンフレットの作成や出向宣伝などの観光誘客事業を実施した。						
K P I		指標名	単位	現状値 (H26)	目標値 (H31)	H30 実績値	H30 達成度
	①	観光客入込数	千人/年	1,121	1,800	1,174	65.2%
担当課評価		外部評価 【市民会議評価】				今後の方針 【推進本部評価】	
H30事業効果	地方創生に効果的があった	事業の評価	総合戦略のK P I 達成に有効であった			事業の継続	
今後の方針①	事業の継続	意見	特になし。				

■おやベルネサンス総合戦略事業（地方創生関連交付金事業） 評価基準等

No.	評価項目	評価者	評価区分	評価基準
1	H30事業効果	担当課	① 地方創生に非常に効果的であった	K P I が目標値を達成するなど、大いに成果が得られたとみなせる場合
			② 地方創生に相当程度効果があった	K P I が目標値に達しなかったものの、概ね成果が得られたとみなせる場合
			③ 地方創生に効果があった	K P I 達成状況は芳しくなかったものの、事業開始前よりも取組が前進・改善したとみなせる場合
			④ 地方創生に効果がなかった	K P I の実績値が開始前よりも悪化した、もしくは取組としても前進・改善したとは言い難いような場合
2	外部評価	おやベルネサンス市民会議	① 総合戦略のKPI達成に有効であった	当該事業が、地方版総合戦略のK P I 達成に有効であった
			② 総合戦略のKPI達成に有効とは言えない	当該事業が、地方版総合戦略のK P I 達成に有効とは言えない
3	今後の方針	おやベルネサンス推進本部	① 事業の継続	計画通りに事業を継続する
			② 事業の発展	事業が効果的であったことから取組の追加等更に発展させる
			③ 事業の改善	事業の効果が不十分であったことから見直し（改善）を行う（または、行った）
			④ 事業の中止	継続的な事業実施を予定していたが中止する（または、した）
			⑤ 事業の終了	当初予定通り事業を終了する（または、した）